「ひと」を活かし、観光面での誘致を図るものである。来島者には石割り体験等、北木島の様々な魅力を感じていただけたと考えている。離島活性化事業として観光客に流し雛行事へ参加していただくツアーを実施し、内外へ観光PRすることで伝統行事を支援している。今後の観光促進策の方針として、伝統行事や歴史、瀬戸内海との調和による新たな観光商品の開発、石材産業の産業観光としての振興に努めていきたい。

森岡聰子議員

学校統廃合の現状と今後の取り組みは

議員　第2回学校規模適正化計画説明会が行われたが、地域住民への説明会も含め、現状と今後の取り組みについて尋ねる。

市長　該当校の保護者を対象に説明会を開催し、複式学級や統合で想定される様々な問題への対応等具体的な内容について継続的に話し合いを進めている。今後は、第2回目の地域住民への説明会を実施する予定である。

議員　PTAが保護者を対象にアンケートを実施した地域もある。その結果にどう対応されるのか尋ねる。

市長　保護者説明会でアンケートを踏まえた協議がなされ、様々なご意見等いただいたと聞いている。保護者の皆様と協議をしっかり行い、ご理解とご協力を得るよう指示している。

議員　今後のタイムスケジュールを保護者・地域住民に書面で知らせるべきでは。

教育長　27年度には、各学校のタイムスケジュールを示し進めたいと考えている。

市民病院の担うべき医療機能等とは

議員　井笠圏内で皆無の在宅復帰を目的とした集中的回復期リハビリテーション実施の必要があると思うが、状況と対応策について尋ねる。

病院事業管理者職務代理者　平成26年4月の診療報酬改定により、急性期医療後の受け入れを始め、病院の充実を図るため新設された地域包括ケア病床を設置した。この病床は、急性期治療が終了した患者で、在宅復帰等へ向けた経過観察やリハビリ、支援が必要な方が対象となる。この地域包括ケア病床で対応したいと考える。

議員　看護師不足の対応策として、潜在看護師の掘り起こしについて尋ねる。

総務部長　看護師確保は重要課題であり、この3月から募集年齢を44歳に引き上げ、非常勤等看護師は、募集年齢を59歳までとし、随時募集を行っている。

樋之津倫子議員

子供たちに安心の未来と心通う市政を求めて

議員　岡山県と笠岡市の子供の貧困率を尋ねる。

市長　国は標本調査を行っており、県や市の貧困率は不明。

議員　子ども・若者育成支援推進法に基づく、具体的対応策について尋ねる。

市長　地域協議会を設置していないが、教育現場では教職員やスクールカウンセラーが、子育てや発達に課題を抱える乳幼児期の家庭や子供に対しては保健師等が支援をしている。ケースごとに必要な関係部署等と連絡し対応している。

議員　この5年間で生徒数は600人減少しているが、要保護生徒数は増えている。子供の貧困対策法が昨年成立した。実態調査と対策を求める。

市長　教育扶助率も上がっている実態の中で、ある程度の実態調査は必要と考える。

子供達に行き届いた教育をするために

議員　学校の統廃合問題について今後の地元との話合いの計画を尋ねる。

教育長　2回めの話合いのため日程調整中である。

議員　住民に諦め感を引き出してないか尋ねる。

教育長　協議を積重ねる。

議員　政府は道徳を教科とするため指導要領改訂をする。教育長の見解を尋ねる。

教育長　実施に向け準備している。数値による評価は不適切だが、他教科とは違った位置付けで設定されると期待している。人格完成を目指した教育とは、道徳教育を根幹に据えた教育であるとの考えで教科化が提案されたと捉えている。